

お客様各位

C-Fit Ver5.1.1 バージョンアップ手順書

今回ご提供した CD は C-Fit Ver5.1.1 のフルインストーラです。

CD を挿入すると自動的にインストールのためのウィザードが起動します。ウィザードに従って作業を行えば、自動でバージョンアップが完了しますが、万が一に備えて、事前にバックアップを取ることをお勧め致します。

以下の手順は、ハードディスクの C ボリュームに C-Fit がインストールされている場合のバックアップも含めた、インストール方法です。C ボリュームにインストールされていない場合には、適時、読み替えてアップデートを進めてください。

1. 万が一に備えて、必要なデータをコピー（バックアップ）しておきます。
コピーするフォルダは、以下の通りです。

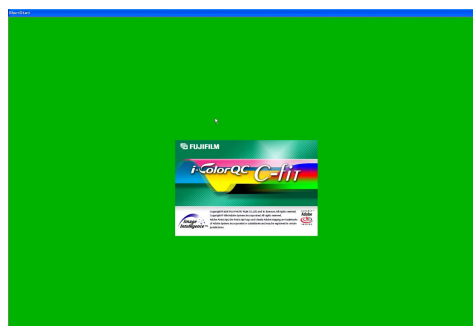
C:\Program files\iColorQC

もし、ファイルサイズの関係で、上記フォルダのコピーをとることができない場合には、

C:\Program files\iColorQC\data

だけは必ずコピーしておきます。（data フォルダと旧バージョンのインストーラがあれば、ジョブチケットは復旧できます）。

2. バージョンアップ用 CD 『i-ColorQC C-Fit Ver5.1.1』 を挿入します。自動的にインストーラが起動し、右図のような画面に切り替わります。
※お客様の環境によってはインストーラが自動的に起動しない場合があります。その場合、「マイコンピュータ」内の「C-Fit_Installer」をダブルクリックしてください。

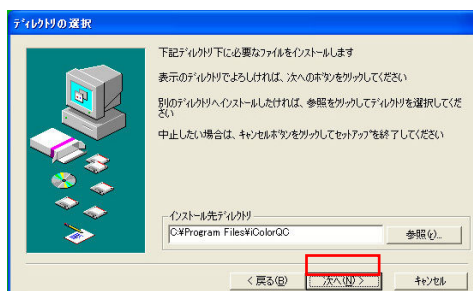


3. ウィザードに従ってインストールを進めます。
「ようこそ」のウィンドウが現れたら指示に従って「次へ」をクリックします。



4. 「ディレクトリの選択」ウィンドウが現れたら、C-Fit Ver5.1.1 のインストール先を指定します。必ず前バージョンがインストールされているフォルダを指定してください。
(通常、前バージョンをインストールしたフォルダが自動的に表示されます。)

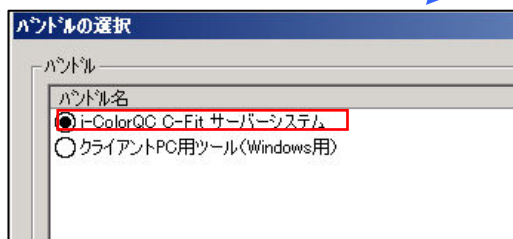
インストール先に誤りが無いことを確認して「次へ」をクリックします。



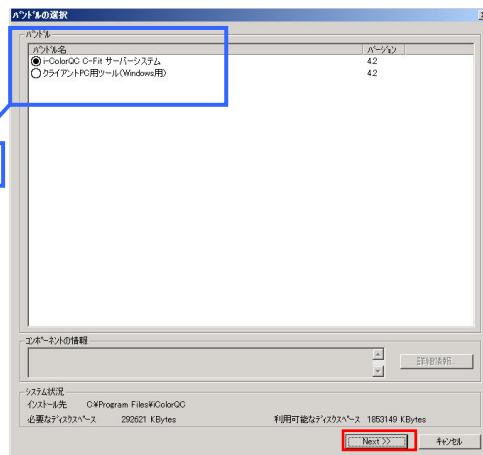
5. 「バンドルの選択」 ウィンドウが現れたら、

『**i-ColorQC C-Fit サーバーシステム**』に

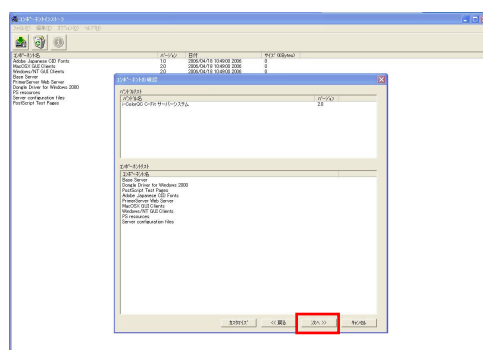
チェックを入れ「Next>>」をクリックします。



拡大画像

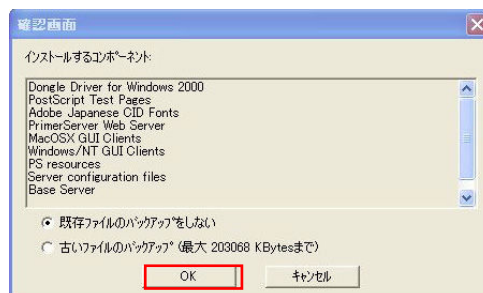


6. 「コンポーネントの確認」 ウィンドウが現れたら、「次へ」をクリックします。



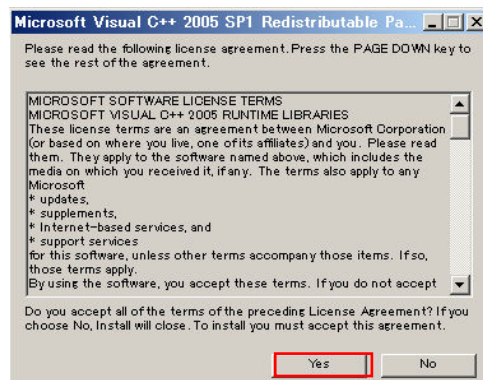
7. 「確認画面」 ウィンドウで「OK」をクリックします。

※既にバックアップ作業を完了しているため、ここでのバックアップの必要はありません。『既存ファイルのバックアップをしない』を選択します。



8. 「OK」をクリックすると、Microsoft Visual C++2005 SP1 の使用許諾契約画面が表示されます。

「Yes」をクリックするとインストールが続行します。



注意

お使いの PC 設定によっては上記作業後、以下の警告ウィンドウが表示される場合があります。

[Command line option syntax error. Type Command /? for Help.]

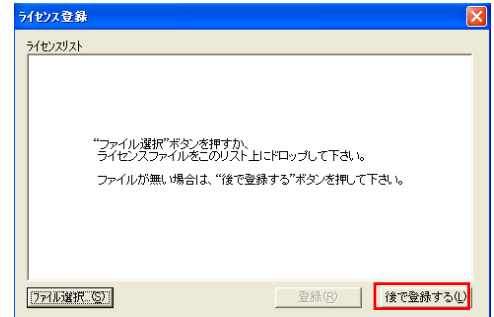
この警告ウィンドウはユーザーアカウントに2バイトコードを使用している PC へのインストール時に表示されます。

この場合、ユーザーアカウントの変更が必要となりますので、別紙「1 バイトユーザーアカウント作成手順」の手順に従ってアカウントの作成及び変更作業を行ってください。

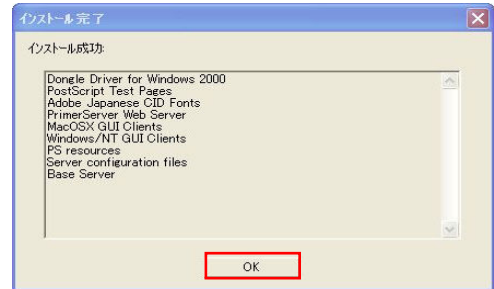


資料② 『C-Fit Ver5.1.1 バージョンアップ手順書』

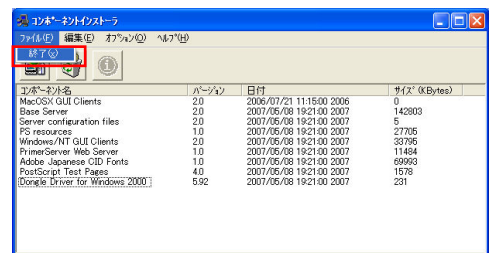
9. インストール中、「ライセンス登録」ウインドウが表示されるので、「後で登録する」をクリックします。



10. インストールが完了すると、「インストール完了」ウインドウが表示されるので、「OK」をクリックします。



11. 「コンポーネントインストーラ」ウインドウのファイルメニューから「終了 (X)」をクリックし「コンポーネントインストーラ」を閉じます。

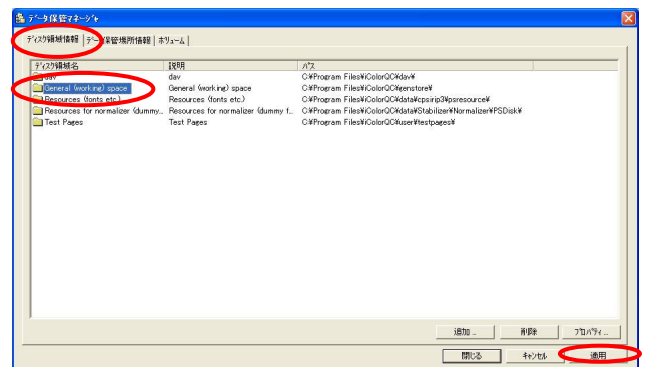


12. Windows を再起動します。

13. Windows 再起動後、スタートメニューより右画面の流れで[保存領域管理]をクリックし、「データ保存マネージャ」を開きます。

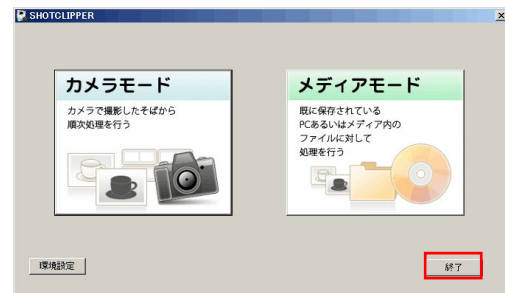
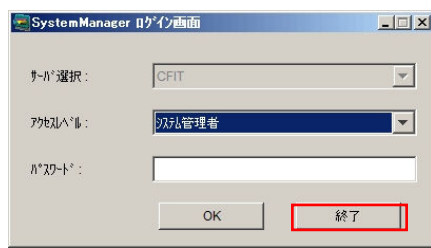


14. 「データ保存マネージャ」ウインドウが開きましたら、「ディスク領域管理」タブ内の「General (working) space」を選択して、適用ボタンを一回クリックしてデータ保存マネージャを閉じます。



15. C-Fit を起動します。自動的にこれまで使用していたジョブチケットの継承作業を行います。旧バージョンの置換え作業に十数分かかる場合がございますがお待ち下さい。

16. しばらくすると[SystemManager ログイン画面]と[SHOTCLIPPER]メインウィンドウが立ち上がります。一旦これらのウィンドウを閉じます。

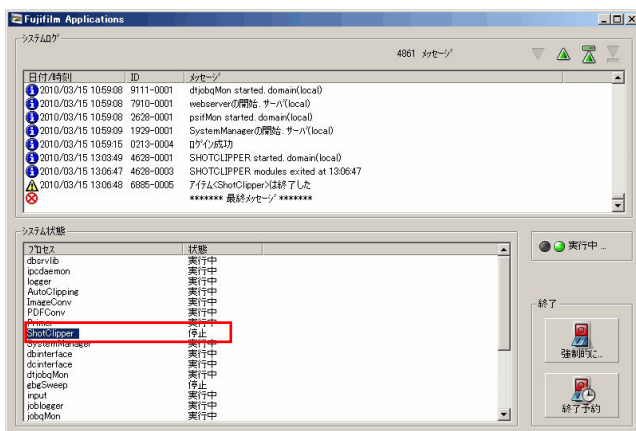


■ [SHOTCLIPPER]メインウィンドウについて
 SHOTCLIPPERは富士フイルムが開発したスタジオ向け自動切抜きツールです。
 C-FitVer5.1.1の初期設定ではC-Fit起動時に自動的に立ち上がる仕様となっておりますが、通常のC-Fit利用においては必要ありませんので自動起動設定を解除します。

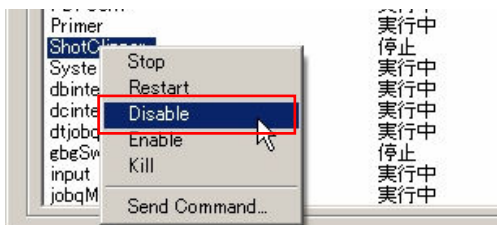
17. Windows タスクバー上にある「Fujifilm Applications」タブをクリックし、Fujifilm Applications ウィンドウを立ち上げます。



18. Fujifilm Applications ウィンドウ左下の「システム状態」一覧の中にある[ShotClipper]をクリックします。



19. [ShotClipper]にカーソルを合わせた状態で[Ctrl+右クリック]することでプルダウンメニューが表示されます。プルダウンメニュー一覧にある[Disable]をクリックします。



※この設定を行うことで、次回以降 C-Fit が起動する際に[SHOTCLIPPER]メインウィンドウが立ち上がりなくなります。

20. FujifilmApplications を再起動します。
 C-Fit のログイン画面が表示されますのでそのままログインします。

2 1. SystemManager 画面右列上段の「標準設定」から、トーンカーブを選択し、一度だけトーンカーブの登録リストを表示し、直ぐに終了ボタンを押します。



注意 重要:この動作をすることで、ジョブチケットの継承が完了します。必ず行ってください。

以上で、アップデート手順は完了です。

その他、アップデート手順についてご不明な点、ご質問等ございましたら、下記までご連絡ください。

【連絡先】

東京：技術二部	電話番号：03-5259-2309	担当：久住
大阪：大阪支社技術部	電話番号：06-6205-6392	担当：中島
名古屋：中部支社技術部	電話番号：052-201-8173	担当：井上